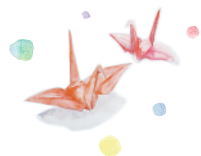


夢に向かって努力できることの幸せ

『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』は2007年に致知出版社様から出版された私の処女作です。現在『しがく式』の受講生は2500名。皆さんには夢に向かって努力を積み重ね、夢を叶えていただきたいと思います。一方で、様々な事情で夢を諦めなくてはならない人がいることも忘れてはいけません。今回は夢を叶えるために努力できることが、いかに幸せなことを考えてみたいと思います。



ヤングケアラという言葉をご存じの方も多いと思います。2021年に

中学2年生の17人に一人が家族のお世話をしているという調査を目にして驚きました。彼らの大半は一度も人にそのことを相談したことがないそうです。

彼らにとっては、日々の生活と学校の授業や試験のことを考えるだけで精一杯。普通の学生が経験する部活動や、友達との楽しい時間も制限されてしまうのです。当然、夢どころではありません。

私は中学生からバスケットボールに打ち込み、高校生のときも部活と新聞配達のアールバイト、趣味のビリヤードやスノーボード、休日には友達の家でゲームをするなど、一般的な中高生の生活を送りました。当時はヤングケアラの存在など知らなかった。私は、自分の境遇に不満を感じていました。しかし、今になって考えると中学生の頃からバスケットボールやビリヤードのプロ選手を夢見て生活できていただけでも、本当に幸せな日々だったと感じます。

話は変わり、先日とあるテレビ番組で古

い炭鉱の町にある酒屋の店主が紹介されてきました。その酒屋はお酒を買ってくれた人にお酒や簡単なおつまみを提供する「角打ち」をしており、昼間から数名のお客さんが来ていました。その店主も自らの酒屋の店主を選んだわけではなく、若くしてお父さんを亡くしたため後継を継いだというです。店主は元々舞台俳優になる夢があり、許されるのであれば渡米して修行をしたかったそうです。

若かりし頃の写真を見ながら語る姿に哀愁を感じましたが、お酒を振る舞い、誕生日のお客様にワンカップをサービスする店主は、今の状況を人生の宿命として受け止め、置かれている状況に感謝しているように見えました。

国

際文化交流舞踊団『曼珠沙華』のママ・ローザ様より、北関東を中心に和食レストラン『ばんどう太郎』など84店舗を展開する、青谷洋治会長をご紹介いただきました。茨城県では知らない人はいないくらいこの巨大グループを一代で築いた

青谷会長は、中学生のときにお母様が亡く

なり、お父様が病に伏したことで、卒業後は家業の農家を継ぎ、お姉さんと農業をやりながら夜はそば屋で働いていました。寝る間もなく働き、疲弊して倒れてしまった青谷会長の姿を見た高校2年生の妹さんが

「今日、学校を辞めてきた。農業は私がやるからお兄ちゃんは夜の仕事を昼間もやってよ」と言ったそうです。家族のために頑張る兄の姿を見て、妹さんは学校の先生になる夢を諦めたのです。青谷会長は一晩中泣き腫らし、何があっても社長になる夢を実現しなければならぬと思ったそうです。

ヤングケアラや舞台俳優を夢見た酒屋の店主、青谷会長の妹さんは努力を怠って夢を叶えられなくなったわけではありません。様々な状況からどうしても夢を諦めるしかなかったのです。世の中には夢があっても努力することすらできない人がいることを忘れてはいけません。夢に向かって努力できるだけで幸せではないでしょうか。小さくても構いません。自分の夢を見つけ努力していつてほしいと思います。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。プータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン審査員。著書に『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』(致知出版社)、『まずは上司を勝たせなさい』(講談社)、『応援される人』になりなさい』(ワック)がある。